

水稻育苗用ロックウールマット

クミ
アイ **こめパワー** マット[®]

日本ロックウール株式会社

無加温 | 平置き出芽

こめパワーマットのセット

ポイント

- 白色面(肥料面)を上にして育苗箱にセットしてください。
- 育苗箱の底からマットが浮かないようにセットしてください。
- 育苗箱は深さが約30mmの稚苗用が最適です。

注意

- 育苗箱の深さが浅いと覆土量が充分でなく、平置き出芽の場合は根上りの原因となります。
- 田植え機のかき取り精度が落ちますので、新聞紙等敷き紙は敷かないでください。

加温(または無加温) | 積重ね出芽

播種時灌水

ポイント

- 灌水総量 2.0~2.3リットル(消毒灌水含む)
- 病害予防のための消毒液灌注を行うと安心です。

注意

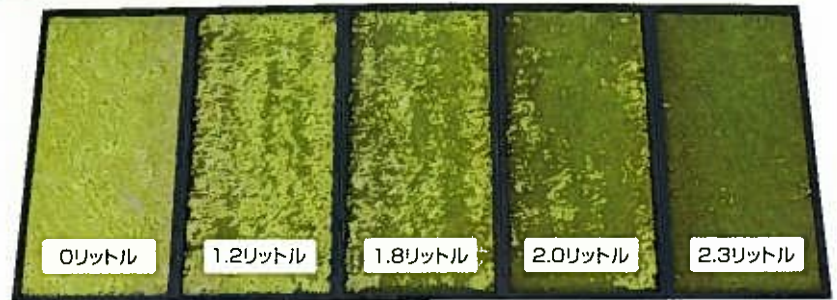
- 灌水量が少ないと出芽及びその後の生育に不具合を生じる場合があります。
- 確実に上記の量を灌水してください。

播種

ポイント

- 種子消毒した、はと胸状態の種粉を用いてください。

マットに灌水して裏返した状態



最低この量が必要です。

この量であれば問題ありません。

播種時灌水

ポイント

- 灌水総量 1.8~2.0リットル(消毒灌水含む)
- 病害予防のための消毒液灌注を行うと安心です。
- 無加温の積重ね出芽の場合は、できるだけ温かい水を使用すると良いでしょう。

注意

- 灌水量が少ないと出芽及びその後の生育に不具合を生じる場合があります。
- 確実に上記の量を灌水してください。

播種

ポイント

- 種子消毒した、はと胸状態の種粉を用いてください。

覆土

ポイント

- 覆土量 1.4~1.8リットル
- 育苗箱の縁すり切りの量が良いでしょう。
- 粒状培土を使用してください。肥料入りで粒の崩れにくい培土が適します。
- 粉状・重粘土・肥料成分が極端に偏った培土は避けてください。

注意

- 覆土が少ないと根上がりを起こし易く、温度の影響を受け易くなります。また、少ない覆土で灌水すると種粉が露出してしまいますので、高低温障害の影響を受け易くなります。
- 覆土後の灌水はしないでください。

設置・出芽

ポイント

- 育苗箱がなるべく平らになるように設置します。
- 保温用のシートを被覆します。
- 最低夜温はシート内で15℃以上を目安としてください。
- 晴天日は急激な昇温に注意してください。
- 出芽時に根上がり症状が見られたときは、軽く灌水し、培土を散布して覆土を落ち着かせてください。

注意

- 晴天時は換気に気を遣い、急激な昇温に注意してください。急激な昇温は、根上がりの原因になります。

出芽～1.5葉期

ポイント

- ハウス内温度 最低:15℃/最高:25℃
- 寒冷地では夜間、保温に努めてください。
- 灌水は覆土をぬらす程度の少量が最適です。
- プール育苗でもこの時期までは同じ灌水管理とします。

注意

- 土に比べると覆土量が多く、水量が多いため、若干発芽が遅れます。
- 苗をめくり、マット内の水分を確認してください。覆土が乾いていてもマット内に水分がある場合があります。

1.5葉期以降

ポイント

- ハウス内温度 最低:15℃/最高25℃
- 灌水は土苗より少な目にしてください。1日1回もしくは2日に1回としてください。
- 播種後15日目(1.5葉期頃)葉色が薄い場合は追肥を実施してください。(チッソ成分0.5~1.0g/枚)

注意

- 土苗に比べて灌水頻度は約半分程度で十分です。
- 灌水が多すぎると、過湿気味になり、根張りが悪くなったり、立ち枯病にかかる恐れがあります。

ハウスでの育苗事例



本田移植

- マットは土苗より軽量のため、十分な水分を与えます。(水分が不足すると滑りやかき取りが悪くなり、欠株が出やすくなる恐れがあります)
- マットは土苗より軽量のため、苗の補給を早目に行います。
- 植え付け深度を1段深植えにします。マットの厚さ分(16mm)を田んぼに埋め込むという意味での深植えです。
- 適正なかき取りができる様、田植え機の爪や口金、深さや速度等の調整を必ず行います。(変形、摩耗した爪や口金は早目に交換します)
- とくに苗滑りが悪い場合には、苗寄せ台に「敷居スベリ」「ビニールテープ」等を貼ると滑りが良くなります。

水田での育苗事例



十分な出芽の例



この状態まで出芽させてください。

不十分な出芽の例



中央部が未出芽のまま緑化に移すと、上の写真のように中央部の生育が遅れます。

1.5葉期の状態



積重ね出芽の場合この時期まで灌水はいりません。

良い根張りの例



完成苗のすばらしい根張り。

覆土

ポイント

- 覆土量 1.2~1.6リットル
- 粒状培土を使用してください。肥料入りで粒の崩れにくい培土が適します。
- 粉状・重粘土・肥料成分が極端に偏った培土は避けてください。

注意

- 覆土が少ないと根上がりを起こし易く、温度の影響を受け易くなります。また、少ない覆土で灌水すると種粉が露出してしまいますので、高低温障害の影響を受け易くなります。
- 覆土後の灌水はしないでください。

加温・出芽

ポイント

- 育苗器内に積み重ねます。
- 最上部には重しの箱を乗せてください。
- 温度は28~30℃が最適です。(もみ枯細菌病対策)
- 出芽には3~4日かかりますが、出芽状況を見て調節してください。
- 土の場合より半日~1日長い時間が必要です。

注意

- 積み重ねた中段部分は熱の伝わりが遅く若干出芽が遅れます。
- 出芽不足の状態では育苗器から出すと、未出芽部分は発芽が遅れさらには根上がりの原因ともなります。

出芽～1.5葉期

ポイント

- ハウス内温度 最低:15℃/最高:25℃
- 寒冷地では夜間、保温に努めてください。
- この時期の灌水は基本的に必要ありません。
- 播種時に1.8~2.0リットル灌水できていれば、覆土が乾いていてもマット内部には水分が十分あります。
- 灌水の目安としては、育苗器から出して5日目くらいに行くと良いでしょう。
- プール育苗でもこの時期までは同じ灌水管理とします。

注意

- この時期に灌水が多量だと、根張りが悪く病害に弱い苗になりやすくなります。
- 昼間の温度は25℃以下を保ち、夜間は保温に努めてください。

1.5葉期以降

ポイント

- ハウス内温度 最低:15℃/最高25℃
- 灌水は土苗より少な目にしてください。1日1回もしくは2日に1回としてください。
- 播種後15日目(1.5葉期頃)葉色が薄い場合は追肥を実施してください。(チッソ成分0.5~1.0g/枚)

注意

- 土苗に比べて灌水頻度は約半分程度で十分です。
- 灌水が多すぎると、過湿気味になり、根張りが悪くなったり、立ち枯病にかかる恐れがあります。

水稻育苗用ロックウールマット

クミチビッコパワーマット®

マットにたっぷり初期灌水。
育苗期間中は節水管理。

こめパワーマットの特徴

- 1 マットが軽く育苗作業が楽々。
稚苗用、中苗用共に、
土苗(約6kg)に比較して半分(約3kg)と軽量です。
- 2 マット苗は土苗と比較し保水性が大きいため、
育苗期間中の灌水回数は大幅に削減できます。
低コストで育苗管理も大変楽になるので、
管理をされている奥様方にも喜ばれます。
- 3 マットには健苗を育てる可溶性ケイ酸分が、
40%以上含まれています。
- 4 マットに付着している
チカチカな粉塵を除去しています。
- 5 Kタイプ(寒冷地用)・Nタイプ(一般用)・Dタイプ(暖地用)
が選べます。

乳苗育苗には 乳苗専用 **クミチビッコパワーマット®**

■ 製品規格

材質	ケイ酸カルシウム繊維
重量	1枚あたり170g
寸法	長さ579mm × 幅279mm × 厚さ16mm (育苗箱の内寸規格に準ずる)
荷姿	25枚入/ダンボール箱
pH	5.0前後
主成分	ケイ酸SiO ₂ , 石灰CaO, 苦土MgO
標準肥料成分 (1枚あたり)	Kタイプ チッソ1.8g, リン酸1.0g, カリ2.0g
	Nタイプ チッソ1.5g, リン酸1.0g, カリ1.0g
	Dタイプ チッソ0.8g, リン酸0.8g, カリ0.8g

使用上の注意

①保管上の注意

湿気の少ない、日陰に保管してください。
水に濡れないように保管してください。

②育苗上の注意

マットの育苗方法は、土の育苗方法と異なる点がありますので、マットの特性を良くご理解の上、ご使用ください。
出芽方法によって使用方法が異なりますのでご注意ください。

⚠ 注意

内容

- ①多量に、長時間ロックウールを吸入すると、呼吸器系に障害を生じるおそれがあります。
- ②皮膚に対して、一時的に炎症を生じることがあります。

回避手段

- ①切断はカッターナイフ等の手動工具を使用してください。
- ②取り扱いに際しては防じんマスクを着用してください。
- ③長袖の作業衣及び保護手袋を着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡を使用してください。
- ④廃棄する場合は「ガラスくず及び陶磁器くず」として処理してください。

ROCKWOOL
日本ロックウール株式会社

本社 〒105-0012 東京都港区芝大門1-10-17 松下芝大門ビル
TEL 03(3432)0335 / FAX 03(3432)0338
大阪支店 〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-23-8 三山興産ビル
TEL 06(4391)7927 / FAX 06(4391)7918

<http://www.rockwool.co.jp/>